

太陽黒点観測報告

2019年 1月

観測者 : 村上昌己

1) 概況

今月は冬型の気圧配置は続かず、おおむね晴天傾向であったが、気圧の谷が通過することがときどきあり天候を崩した。北に低気圧があることが多く南風が吹いて暖かく、当地では雪になることはなかった。下旬になると空の青味も薄くなり雲の出る日が多くなって、日差しもやや強くなり春の気配になってきた。

黒点活動は、年初から40日ほど無黒点が続いていた北半球に黒点が発生していて、連日の晴天で追跡が出来たが、6日の部分日食の日だけ曇で最後まで見ることが出来なかった。下旬にも北半球低緯度に黒点が発生して久しぶりに黒点数の多いD型群にまで発達した。反して、南半球は12月下旬から黒点の活動が見られず、月末までで50日間も無黒点が続いている。極小期の底のようで、発生した北半球の群はいずれも低緯度にあり、磁極性で判断する限りサイクル24の群で、新しいサイクルの群ではなかった。

今期は2212~2213周期の観測だった。私の所では、北半球に2群の新しい黒点群を観測しただけであった。

2) 日別観測記録

Table with columns: 日付時刻, 北半球, 南半球, 全面, 中心帯, 相対数, 視相(/5), 肉眼黒点群, 天候. Rows for dates 01 to 31.

合計 12 153 0 0 12 153 5 74 273 124 -- (--/ 0日)

相対数(10g+f) 273 0 273 124
日平均相対数 11.9 0.0 11.9 5.4
相対数活動比 100% 0% 45.4%
相対数前月比 +∞% -100% +465.2% +285.1%
日平均相対数修正値 (k=0.6) 7.1 0.0 7.1 3.2

観測日数 23 日

観測地 : 神奈川県横浜市泉区和泉中央北 (北緯 35° 25.2' 東経 139° 29.4')

使用機器 : 10cm屈折望遠鏡 (f=1200mm) 48倍 15cm投影、80倍、96倍にて拡大スケッチ・黒点数カウント

3) 黒点群活動表

略語表

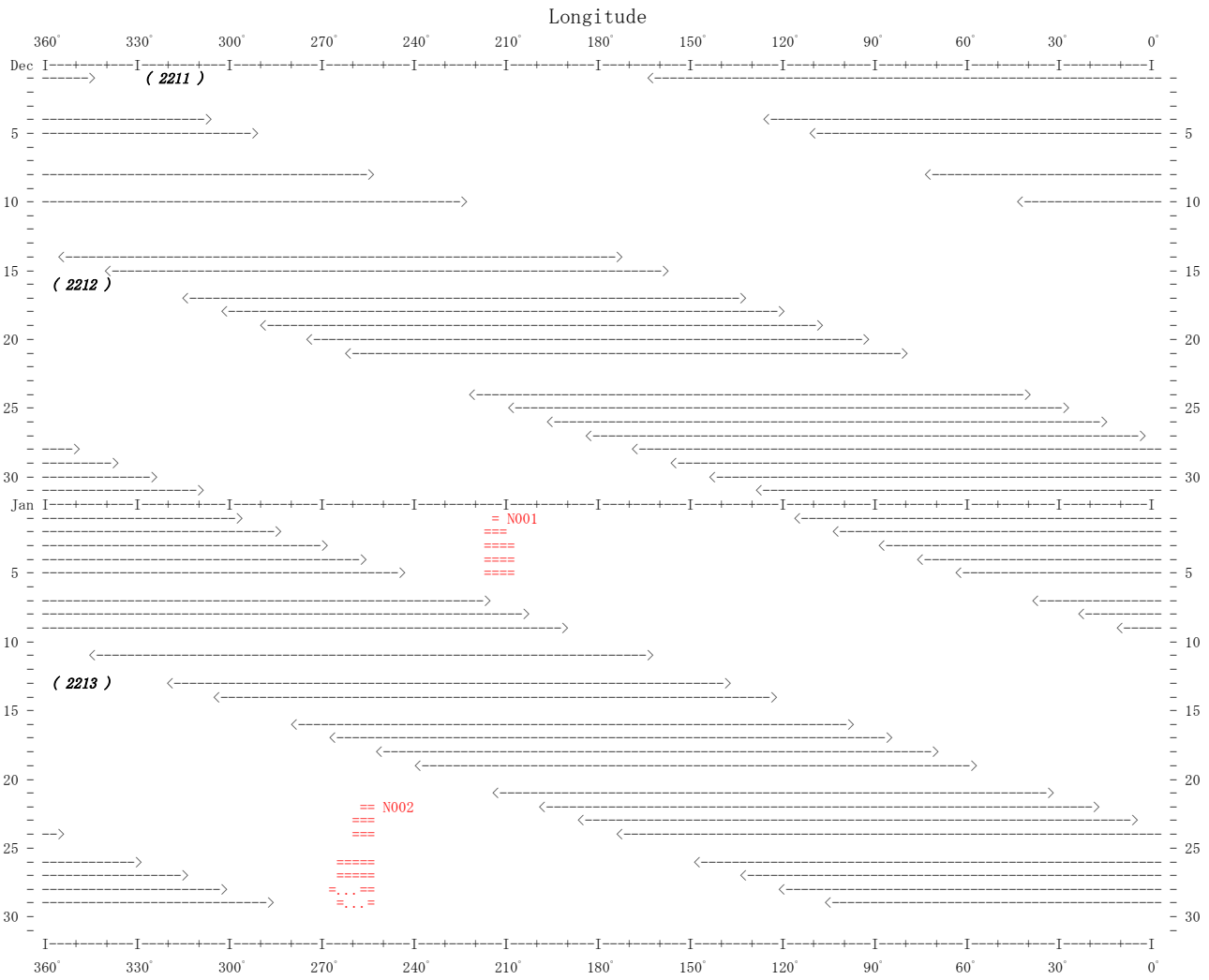
e: East hemisphere; w: West hemisphere; c: Center;
 a: Appear; d: Disappear; o: Outbreak; l Lose;
 */_ : Visible to the naked eyes; uk: Unknown; x: Not find; (p): penumbra

北半球

周期 番号	群番号 Group Number	太陽面 緯度 Lati.	太陽面 経度 Longi.	観測 初日 F.Obs.	観測 中央通過 C.M.P	期間 末日 L.Obs.	活動状況 Before C.M. Passage :CMP: After C.M. Passage
2212	12732 N19001	N08-10	211-218	Jan 01	—	05	co :a3 D6 D16D7 C8 - w1?
2213	12733 N19002	N04-07	255-266	22	24	29	eo A9 D14:D19:- D32D17D11C11- wd?

Sunspot Drift-Chart December 2018 ~ January 2019

北半球 Northern hemisphere



Latitude : 00° ~ 10° : == , 10° ~ 20° : + , 20° ~ 30° : - , 30° ~ : *** / West Edge :--> , East Edge : <--

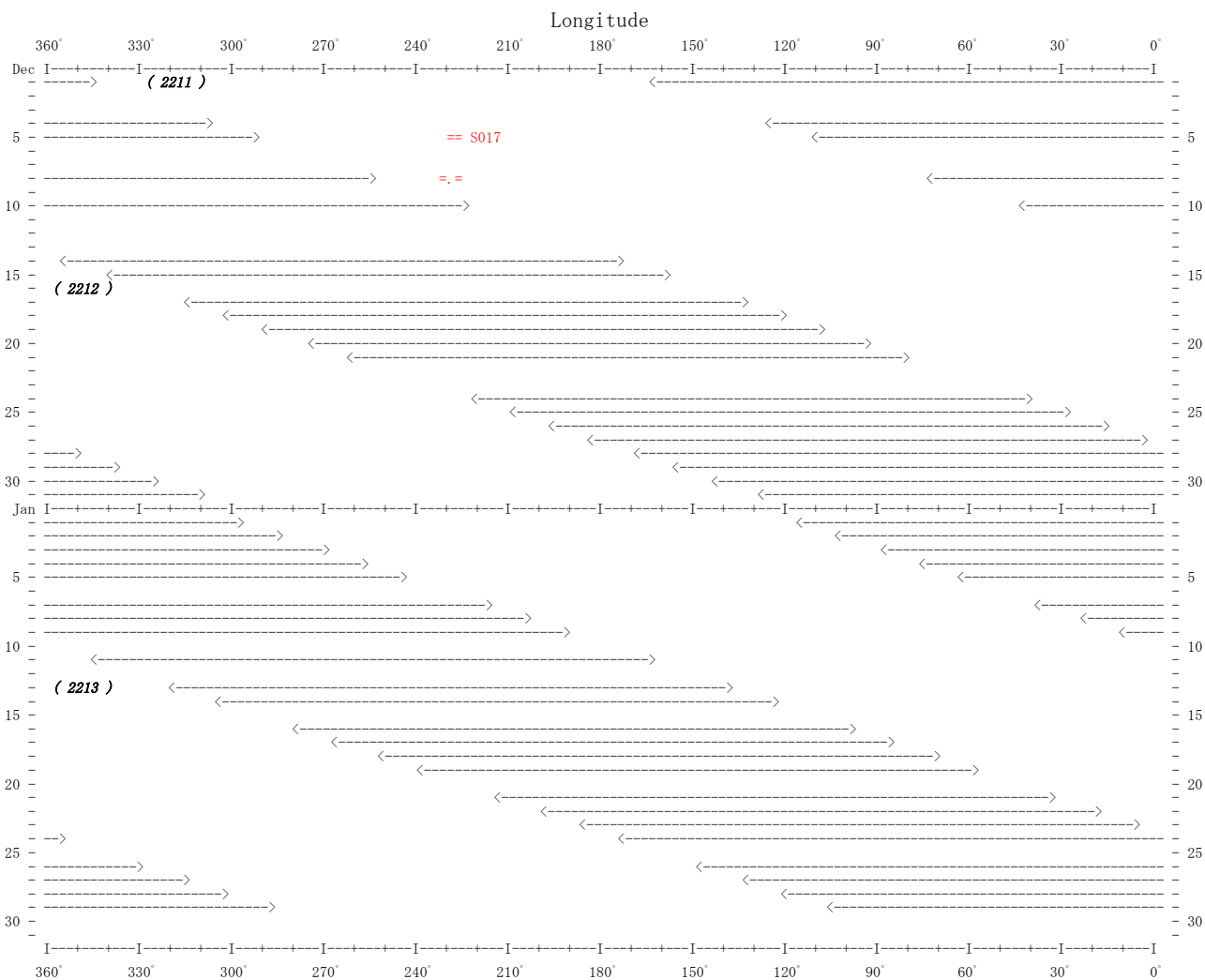
南半球

周期	群番号	太陽面	太陽面	観測	期間	活動	状況
番号	Group Number	緯度	経度	初日	中央通過	末日	Before C. M. Passage :CMP: After C. M. Passage
Ro. #	NOAA Murakami	Lati.	Longi.	F. Obs.	C. M. P	L. Obs.	- - - - - : - : - - - - -

(None)

Sunspot Drift-Chart December 2018 ~ January 2019

南半球 Southern hemisphere



Date Latitude : 00° ~ 10° : === , 10° ~ 20° : +++, 20° ~ 30° : --- , 30° ~ : *** / West Edge :--> , East Edge : <--

